

**9月定例会
市議会**

**平成22年度決算認定や補正予算審査など
党市議団一くらし応援の立場で論戦**

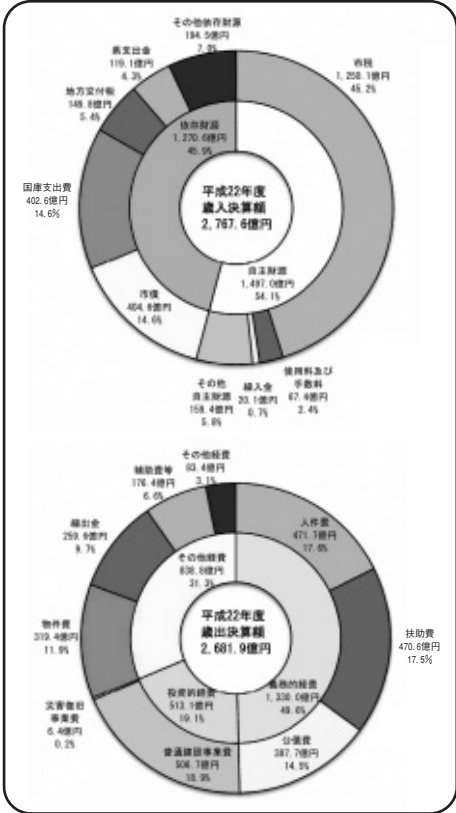
**日本共産党
静岡市議会議員団
ニュース**

2011-No.6

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内)4541
FAX 054-272-4695
アドレス http://www.jcps.jp/
メール yksf5@jcpss.jp

9月定例会議日程

会期 9/15~10/18(34日間)
会場 静岡庁舎本館
○本会議 9/15(木)午前10時より
○総括質問【第1日】9/27(火)午前10時より
○総括質問【第2日】9/28(水)午前10時より
○総括質問【第3日】9/29(木)午前10時より
○常任委員会
10/3(月)午前10時より
○厚生委員会○経済消防委員会○都市建設委員会
10/4(火)午前10時より
○厚生委員会○経済消防委員会○都市建設委員会
10/11(火)午前10時より
○総務委員会○上下水道教育委員会○生活文化環境委員会
10/12(水)午前10時より
○総務委員会○上下水道教育委員会○生活文化環境委員会
○本会議 10/18(火)午前10時より



二十二年度決算認定や補正予算などが提案された九月定例会市議会が九月一日〜十月一日の日程ではじまりました。

党市議団はくらし・安全・経済応援の立場で、諸議案を審査するとともに四人全員が総括質問を予定しています。

◆補正予算は四六億円の増額ですが、そのうち約半分が水道庁舎建設の土地購入費十億円と基金積み立て十億円です。くらし、安全や地域経済を直接応援する予算の工夫が求められます。

放射能対策で茶畑の土壌改良、小規模な津波対策、医師・看護師確保対策などの事業も提案されています。

また、二十二年度決算では、政令市になってはじめて民生費が土木費を上回りましたが、中身をみると生活保護費や子ども手当への扶助費が一〇四億円増加したことが要因です。

その他、国保料の毎年値上げで国保会計は十九億円も黒字。各種合計の基金積み立てが六十億円増える一方、借金は市民一人あたり八十五万円にもふくらんでいます。

9月定例会での本会議質疑



9月28日(水) 午前11時頃
内田りゅうすけ議員
①JR草薙駅整備について
②清水新文化会館について
③生涯学習交流館の指定管理について



9月28日(水) 午前11時半頃
鈴木せつ子議員
①放射能汚染から子どもを守る対策
②子ども医療費助成について



9月28日(水) 午後3時頃
寺尾昭議員
①地域主権改革について
②津波対策、浜岡原発について
③小鹿、大谷地区まちづくり



9月29日(木) 午前11時頃
山本明久議員
①国保料の徴収猶予、滞納処分について
②水道庁舎建設について

葵区、駿河区、清水区で放射線測定

※測定方法
10秒間隔で10回〜20回の読み取り
単位、毎時マイクロシーベルト
年間1ミリシーベルト(一般公衆の線量限度)は、毎時換算で0.12マイクロシーベルト

場所	測定日時	地表面	地上1m
駿府公園 (葵区、家康みかん前)	7/14	0.106	0.058
今官公園 (葵区、滑り台棟)	8/3	0.099	0.1015
A保育園 (駿河区、プール棟)	8/18	0.10	0.05
船越堤公園 (清水区、広場)	8/18	0.09	0.07
B保育園 (葵区、砂場)	9/1	0.101	0.073



党市議団は独自に保育園、公園など、子どもたちが過ごす場所の放射線量測定を行っています。

**市長と教育長に申し入れ
学校、保育園などで放射線測定、安心安全の給食食材を**

放射能の影響を受けやすい子どもの健康を守ることは、政治の責任です。党市議団は、9月9日市長と教育長に対し、幼稚園、保育園、学校、児童クラブなどの放射線量調査の結果を公表すること、学校の給食の食材の放射線量調査を求め、要請を行いました。今こそ、市の積極的な姿勢が求められます。



市教育委員会に申し入れ